



2021年9月
#SOTEU

インド太平洋地域における協力 のためのEU戦略

欧州連合（EU）は、極めて重要なインド太平洋地域への戦略的関与を強化している。経済的・人口的・政治的重要性を増している同地域は、ルールに基づく国際秩序の形成や地球規模の課題への取り組みにおいて主要な役割を担っている。EUは、この新戦略により、民主主義、法の支配、人権、国際法の原則に基づいて、同地域の安定、安全、繁栄、持続可能な開発に貢献することを目指している。

インド太平洋地域は、EUの経済成長に不可欠であり EUは同地域の主要なパートナーである

世界のGDPの約 60% を生産

世界の成長の3分の2に貢献

2030年までに新たに加わる中間層24億人の
90%を輩出

インド太平洋地域は：



EU域外の四大経済大国のうち
3カ国を擁する（中国、インド、日本）



デジタル経済と技術的発展の
最前線



グローバルバリューチェーン、国際貿易、
投資フローの中心

…そしてEUは

この地域にとって最大の投資家、最大の開発援助提供者、最大の貿易相手である。

インド太平洋地域における協力は、国連の持続可能な開発目標（SDGs）の達成など、国際的な目標を実行する上で極めて重要である。

欧州とインド太平洋地域は、新型コロナウイルス感染症のパンデミックの後の社会・経済の復興を推進し、それぞれの市民の幸福を実現するために、今こそ、共に取り組むことが求められている。

長年にわたりEUは、以下のような分野でインド太平洋地域に重要な貢献を行ってきてている。



開発協力と人道援助



気候変動、生物多様性の損失、
汚染への取り組み



パートナーシップ
協定と自由貿易
協定



災害リスクの
低減



人権や航行の自由など
国際法の擁護

インド太平洋地域の安定と繁栄は、EUや世界にとって重要である

EUとインド太平洋地域の未来は、経済の相互依存や共通の地球規模の課題を前提として、密接に結びついている。また、EUの対外貿易の約40%は南シナ海を通過していることから、同地域の安定は共通の懸念であり、協力分野となっている。

インド太平洋地域における地政学的な競争は激化しており、技術・政治・安全保障分野だけでなく、貿易やサプライチェーンに強い緊張関係が生じている。

EUが同地域への関与を強化する目的は、強固で持続するパートナーシップを構築するとともに、全ての人にとって自由で開かれたインド太平洋地域を維持することである。

「インド太平洋地域における協力のためのEU戦略」により、EUは、以下の重点分野において協力を強化することが可能となる。



持続可能で包摂的な繁栄

- バリューチェーンの強化、貿易関係の強化と多様化、既存の貿易協定の実施、進行中の貿易交渉の完了、戦略的分野での協力の構築に向けたインド太平洋地域のパートナーとの協力
- 産業補助金、経済的強制、強制的な技術移転、知的財産の窃盗など、不正な慣行から国際貿易を保護するためのルールの強化



連結性

- あらゆる分野でのインド太平洋地域のパートナーとの連結性の促進
- 良好な規制環境を確立するためのパートナーへの支援、欧州とインド太平洋地域との現場での連結性の向上に向けた資金調達の促進



グリーンへの移行

- 気候変動の対策・緩和・適応や生物多様性の損失・汚染などの他環境破壊の対策に向けたパートナーとの協力



安全保障と防衛

- インド太平洋地域における安全な海上交通路、能力構築、海軍のプレゼンス強化など、開かれた、ルールに基づく地域の安全保障体制の促進
- EU加盟国による同地域への海軍派遣の強化を確保する手法の検討
- インド太平洋地域のパートナーの海洋安全保障能力の支援
- サイバー犯罪対策に関するパートナーの能力構築の促進



海洋ガバナンス

- 国連海洋法条約（UNCLOS）など、国際法の完全な遵守に基づく、同地域の海洋ガバナンスの強化
- 違法無報告無制（IUU）漁業対策や「持続可能な漁業パートナーシップ協定」の実施に向けた、同地域のパートナーへの継続的な支援



人間の安全保障

- インド太平洋地域における後発途上国の医療制度やパンデミックに対する準備態勢への支援
- インド太平洋地域における災害リスクの低減や防災に関するEUの関与の強化

2021年施政方針演説

広範囲にわたる包摂的なEUのアプローチ

本EU戦略は、互いの利害が一致する場合に協力することを望んでいるインド太平洋地域の全てのパートナーを包含するものである。同時にEUは、同じ懸念を共有する国際パートナーと連携し、基本的な利益を守り、自らの価値、すなわち、民主主義、人権、法の支配を引き続き促進していく。